

令和3年度「地域内エコシステム」技術開発・実証事業 【発酵熱を用いる木質チップ自然乾燥手法の高度化】

事業の概要

事業実施事業者：【株式会社日比谷アメニス】

事業実施場所：【千葉県】

1. 事業の目的

増加する木質燃料需要に対して、屋外における木質チップの自然乾燥と保管を行う手法は重要となる。そこで、防水透湿シートによる発酵熱を用いる木質チップの自然乾燥手法を高度化し、簡便かつ低コストで実施可能な手法として確立することで、地域内エコシステムづくりに貢献することを目指す。

2. 事業の実施方法

- 1) 乾燥手法の最適化に向けた情報整理
- 2) 効率的な運用手法の開発
- 3) 実証試験による乾燥・保管能力の評価
- 4) 本手法に適した事業モデルの構築・パターン化

3. 事業の効果

- ① 発酵熱利用手法の標準化
木質チップの自然乾燥手法として標準間することで、燃料品質を確保する選択肢を増やす。
- ② 木質燃料使用時の熱量ロスを低減
木質バイオマス由来の低位発熱量と有機物損失の差し引きで、熱量を5%増加させる。
- ③ 乾燥・保管コストの低減化
乾燥コストを分析し、低減化の検討とチップ流通価格への判断材料となる。
- ④ 安定供給体制への寄与
多様な事業者によるチップ供給事業への参画を促し、地域主導型の中小規模バイオマス利用を促進させる。

《事業の基本コンセプト》

